

令和3年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立八潮高等学校)

目指す学校像	「清純 真摯」の校訓のもと、社会の中で力強く生きる力を育てる学校
--------	----------------------------------

重点目標	1 より高い進路希望の実現を目指し、生徒の基礎学力の定着と向上を図る。 2 生徒の行動力・実践力を高め、部活動等への積極的な参加を促進する。 3 生徒募集の安定化を含め、保護者・地域との連携を強化する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							
年度目標				年度評価(令和年月日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○本校生徒一人ひとりの学力を着実に向上させる学習活動を展開したい。その実現には、主体的・対話的で深い学びの手法を取入れた授業実践が必須であり、授業改善に向けた方策の研究が求められる。	○優れた学力の育成と、主体的・対話的で深い学びに着眼した授業改善を実践する。	① 授業、部活動、委員会活動等について、教員の目標設定に、主体的・対話的手法を含める。 ② 朝の学習、学習支援メディア、家庭学習を活用し、生徒の知識・技能の習得を定着させる。 ③ 授業改善に資する授業研究を実施し、授業力を向上させる。	① 授業アンケートで理解度等に関する回答割合(肯定が70%以上) ② 実施の可否 ③ 実施の可否			
	○進路多様校として、高校3年間を見通した進路指導を整備し、安定して難関進路を実現させる組織体制を確立する。それにより、学力向上、キャリア意識向上を進め、それぞれの進路実現に不可欠な自己能力を向上させる。	○生徒ひとり一人の将来を見据え、体系的かつ組織的な学年横断的進路指導を展開する。	① 長期休業中の進路先別対策講座の参加機会を増やす他、学習施設、関係教材の整備を進める。 ② 県外先進校視察を実施し、他校の教育実践を全教員で共有し、指導法を確立する。 ③ キャリア意識に係る講演会や分野別ガイダンス等により進路に対する意識を高める。	① 大学進学希望者に向けた対策講習の実施と合格割合(希望者の60%)、及び就職希望者に向けた面接・小論文指導実施の可否 ② 県外先進校4校視察 ③ 実施の可否			
	○地域に根差した高等学校として、落ち着いた校風で地域から信頼されている。生徒の進路希望は多様であり、学力分布も広範囲である。生徒一人ひとりの進路実現ため、行動力・実践力を高め、自主性を伸ばし、成長させる体制づくりが必要である。	○基本的な生活習慣を確立しつつ、常に高い意識を持って、日々の活動において挑戦する意欲や自主性を向上させる。	① 学校行事、部活動、ボランティア活動を活性化させ、企画立案等や情報発信させる。 ② 生徒の情報を学年・分掌等で共有し、組織的に生徒を育成する。 ③ 多角的評価システムを活用し、生徒の活動実績等を蓄積させる。	① ボランティア活動地域の行事等への参加(年間5回以上) ② 実施の可否 ③ 実施の可否			
3	○本校で展開している教育活動に係る情報が地域等に十分には周知されていない。特色あるコースやクラスについて内容が周知されておらず、地域等からの理解を促進させる必要がある。	○地元地域や通学可能地域の信頼を得た生徒募集を実現させ、入試倍率を確保する。	① 生徒募集に向けたオープン・スクールや学校説明会等を刷新する。 ② 全教職員による中学校・学習塾訪問を効果的に展開し、本校2年生の母校訪問を醸成する。 ③ ホームページを洗練し、教育活動に係る情報発信を進め、入試情報を適切に提供する体制を確立する。	① オープンスクール等の再編成と内容の刷新 ② 実施の可否 ③ 年間アクセス数(昨年度実績40万件以上)			

学校関係者評価	
実施日(令和年月日)	
学校関係者からの意見・要望・評価等	